

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スパークハウス上越ふじまき		
○保護者評価実施期間	7年 1月 5日		7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	7年 1月 5日		7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	のびのびと活動出来る 療育室の広さ	療育時間の利用者同士のマッチングや設定人数	十分な職員配置
2	親子療育	活動内容が保護者にも伝わる	活動内容を見ているだけでなく 一緒に活動に参加できるようなプログラム
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の交流	児童発達支援は個別療育を重視している	個別面談だけでなく 集団面談も取り入れる
2	送迎利用の保護者との情報共有	地域連携でモニタリング会議で情報共有できている 連絡帳も活用している。 定期的に面談の希望は促している。 SNSを利用した 相談窓口は常に開設している。	保護者対象のフリー参観の実施を検討
3	人員不足	児童発達支援事業が地域に知られていない 障害特性への対応の難しさが懸念される	有資格者の配置 職員スキルアップ